2023年9月1日　－　つくり・うたい・ひろめ・つなぎあう　－　第656号（1）

音楽運動

日本音楽協議会　〒101-0061　東京都千代田区神田三崎町３丁目10-15 富士ビル505号室　発行人　松本敏之
TEL 03-3221-1821　FAX 03-6369-3057　URL http://nichionkyou.org　Email nichion@yomogi.or.jp

RMM（ローカル線コンサート）
楽しかったよ！他でもやろうよ！

ローカル線のみなさん

日音協は8月27日、RMM（リモート・ミュージック・ミーティング）第四弾としてローカル線（長野県支部）のコンサートをユーチューブで配信しました。「テッペンカケタカ」から「美しく生きていきましょう」まで10曲、そしてアンコールでは「ぞ」を演奏していただき、20人の方々に視聴していただきました。

リハーサルでは音声が途切れるなどトラブル続きで、開演が20分以上遅れましたが、配信スタッフのみなさんにはご負担をおかけしました。ローカル線のみなさん、視聴してくださったみなさん、ありがとうございます。ライブの後はズーム・ミーティングに移動して、感想交流をしました。長野の会場に9人、リモートで8人が参加しました。

ローカル線ライブを楽しみにしていた皆さんの中には頻繁に変更されるURLに視聴をあきらめた方も居られたかもしれません。開演が迫る中でギリギリの対応をしたところですが、開演時間に間に合わなかったことにつきましては大変に申し訳ありませんでした。

感想交流では、長野の青木さんからは「現地はナマで迫力があり、五感で楽しめた」。岩手の三田地さんからも、「みんなは懐かしい歌といっているけど、私にとってはみんな新しい歌。楽しかったよ」と好評をいただきました。

日音協の音楽配信技術にはまだまだ改良の余地ありますが、インターネットを利用したユーチューブ配信の技術で会員のみなさまの演奏を配信していけるように、使用機材や配信環境などの知識と技術を全国の会員のみなさまからも情報をいただきながら、想定外の事態が起きない配信体制を作っていきたいものです。ご協力をよろしくお願いします。

（後藤雅裕）

「ごめん」という歌を聞きました。塚本さんの認知症の母の歌、すごいです。

以前、音楽祭で聞いたときは、認知症が進んできていろんなことが出来なくなった母に対し、塚本さんの怒りと悲しみがにじみ出ていたように感じました。私の母も同じような病状だったので強い共感を覚えました。ですが、この歌を自分も歌ってみようという気持ちにはなりませんでした。

今回聞いてみて、母との思い出、母への思いやり、母への愛情を強く感じました。同時に私もこの歌うたってみたいなと思いました。多くの持ち歌がある中、この歌を選んでくれてありがとうございます。

（香川・細川）

演奏曲全11曲

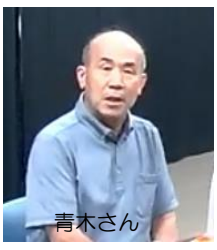
- ●テッペンカケタカ
  詩曲＝塚本茂子
- ●クロマニョンが笑っている
  詩曲＝塚本昇
- ●レール
  詩＝花森安治　曲＝大沢隆男
- ●ふたりぐらし
  詩曲＝上村一郎
- ●ヒキザンのbonheur
  詩曲＝塚本茂子
- ●ごめん
  詩曲＝塚本昇
- ●平林ストリート
  詩曲＝上村一郎
- ●崩壊
  詩曲＝塚本昇
- ●みんなが変わる力になる
  詩曲＝大沢隆男
- ●美しく生きていきましょう！
  詩曲＝大沢隆男
- ●ぞ
  詩曲＝大沢隆男

YouTubeの日音協チャンネルにリモートミュージックミーティングの動画をUPしましたので、見逃した方はこちらからご視聴ください。
https://youtu.be/o_WyOg-eHl4
（坂口）

塚本　茂子　さん

塚本　昇　さん

青木さん　大沢隆男さん


青木さん

上村一郎さん　間宮さん

日音協ソング2023 3曲の推薦曲を決定

日音協はみずからを表現する運動の重要な柱である創作を推進するために、日音協ソング2023を4月27日から6月4日まで募集し、14曲の応募がありました（『音楽運動』7月1日づけ第654号4面参照）。

8月19日から20日にかけて、8人の選考委員が議論した結果、3曲を全国に広めたいうた＝推薦曲として決めました。楽譜は、今後『音楽運動』に1曲ずつ掲載するとともに、日音協第60回定期総会（11月25日予定）で披露し、来年の第55回はたらくものの音楽祭で演奏をお願いすることにします。

また、応募曲14曲すべてを『音楽運動』号外として、11月25日を目途に発行して、会員と機関紙読者にお届けする予定です。ぜひ、仲間の作品を各地でうたい演奏して広めていきましょう。

日音協ソング2023推薦曲（あいうえお順）

されど灯し火は消えず
詩・曲＝おだかずや

戦争の誘惑に乗ってはいけない
詩・曲＝後藤雅裕

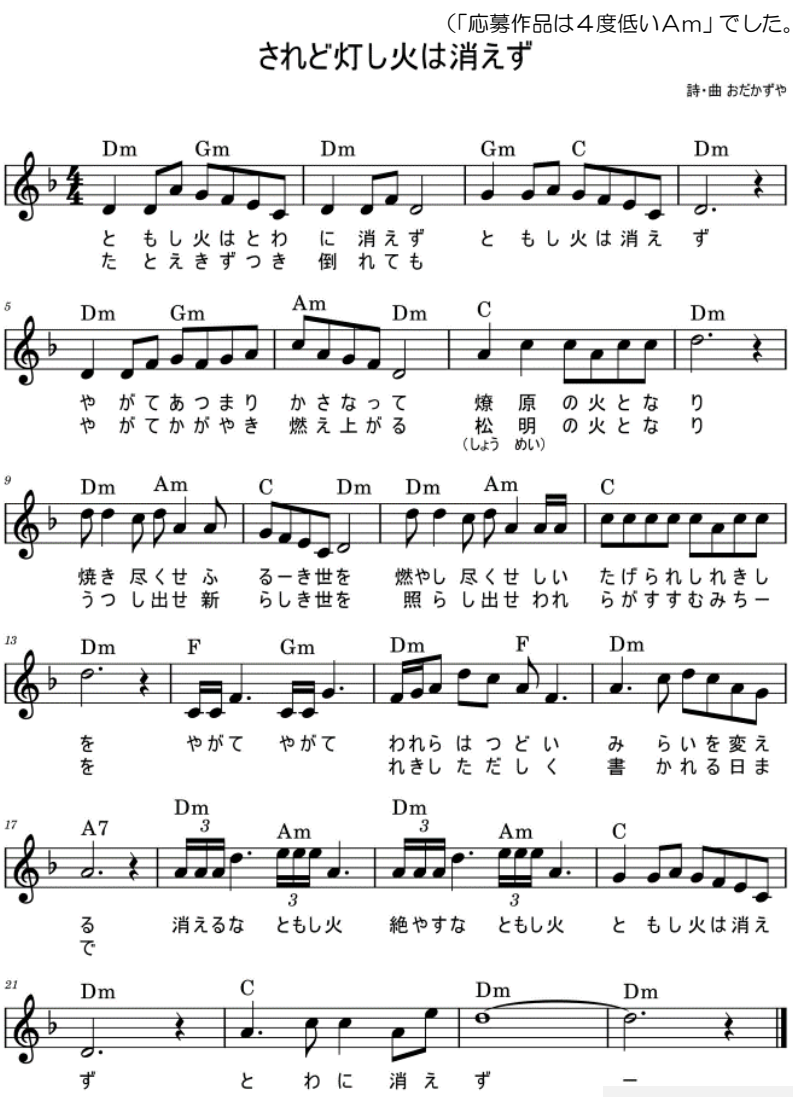
補詩＝日音協秋田県支部
長崎平和祈念像の歌
詩・曲＝今村一男

■日音協ソング2023選考委員会（あいうえお順）

・桑野　功（北海道）
・後藤雅裕（秋田：日音協幹事）
・嵯峨　高（青森）
・狭石啓子（東京）
・塚本　昇（長野：日音協幹事）
・細川　剛（香川：日音協幹事）
・松本敏之（茨城：日音協会長）
・山中正仁（佐賀）

※音楽運動には10月号に『戦争の誘惑に乗ってはいけない』、11月号に『長崎平和祈念像の歌』を掲載します。

（「応募作品は4度低いAm」でした。）



富山県支部8月活動報告

今年も原水爆禁止高岡協議会主催の「被爆者慰霊平和祈念式」が、8月6日（日）高岡市の大佛寺で開催されました。

当日は、猛暑日で屋外を避けて寺の御堂で行われました。

日音協富山県支部は、簡易な音響機器を持ち込み、アコーディオンの米沢さんを含め5名で演奏しました。

約25名の参加者が、核兵器のない世界を祈って読経の後に焼香し、全員で「原爆を許すまじ」を、歌いました。

（富山：中田信男）

全国各地で歌われたと思います。広音サ協の皆さん、写真だけの紹介ですいません。（編集部）

左：原水禁広島大会で「原爆を許すまじ」の合唱をリードする広島県音楽サークル協議会。（原水禁HPより）

JCO臨界事故24周年集会のご案内

1999年９月30日に東海村で発生したＪＣＯ臨界事故から24年目を迎えます。当時、日本の原子力史上最悪となった事故では、ＪＣＯ社員３人が大量の放射線を浴びた後２人が亡くなり、労働者と地域住民の667名が被曝（政府発表）、周辺30万人が屋内退避となりました。これまで言われてきた原子力の安全とは「神話」にすぎないことが明らかになった事故でした。

福島原発事故から12年が過ぎても、未だ３万人を超す人々が避難生活を強いられ、事故の収束も見通せない中にあります。８月24日、政府と東電は漁業者との約束を一方的に反故にし、放射能汚染水の放出を強行しました。国内外から多くの批判の声が上がりました。

さらに、岸田政権は、老朽原発の60年超運転を可能にする「ＧＸ法」を国会で成立させました。同じ東海村にある日本原電の東海第二原発では、再稼働に向けた「安全性向上対策工事」の2024年９月完了を目指していますが、許すことはできません。

岸田政権の原発推進政策に対抗し、あらためてＪＣＯ臨界事故と福島原発事故を忘れず脱原発社会への政策転換を図るために、日音協も参加する原水爆禁止日本国民会議など６団体は、今年のＪＣＯ臨界事故24周年集会を下記の通り開催します。日音協は交通費も負担できませんが、可能な範囲での参加を呼びかけます。

ＪＣＯ臨界事故24周年集会

ＪＣＯ臨界事故を忘れない！　とめよう、東海第二原発の再稼働！

１　日　時　９月30日（土）開場12：00
　　集会13：00～14：40／デモ行進14：50～15：40

２　場　所　東海村・石神コミュニティセンター（茨城県那珂郡東海村石神内宿1609）　TEL 029-283-2868
　　交通：ＪＲ東海駅から約2.4キロ、徒歩35分。車では５分。駐車可能は90台です。車の方は必ず乗合せで参加して下さい。

３　主催団体　原水爆禁止日本国民会議／原子力資料情報室／臨界事故を語り継ぐ会／茨城平和擁護県民会議／茨城県平和フォーラム／東海第２原発差止訴訟団

４　内　容
　(1) 集会　13：00～14：40
　　①黙とう　②地元挨拶　③主催者挨拶④学習講演「繰り返してきた原子力事故　―原子力政策の大転換を批判する」講師　伴　英幸（原子力資料情報室共同代表）⑤特別報告　「東京高裁とこれからの闘い」大石光伸さん（東海第２原発差止訴訟団共同代表）⑥集会アピール　⑦閉会挨拶
　(2) デモ行進14:50～15:40（会場～ＪＲ東海駅まで2.4キロ）

５　日音協としての取り組み
　(1) 日音協は開会前12：30ごろからステージ上で出迎え演奏をします。選曲と伴奏は日音協茨城県支部が担いますが、一緒にステージ上で歌える方はご協力ください。
　(2) 日音協茨城県支部は片づけのために基本的にデモ行進に参加できませんが、可能な方はデモ行進に参加をお願いいたします（東海駅までの行進ですので、電車で来場される方はそのままお帰りいただけます）。
　(3) 準備のために、参加いただける方は９月23日（土）までに、お名前、連絡方法（インターネットメールや携帯電話など）、交通手段と到着予定時刻を金田事務局長あてお知らせください。
　　金田光弘　kaneda6316@gmail.com
　(4) 当日の連絡責任者は、金田事務局長とします。
　　金田光弘　携帯電話　090 5348 4480

東北北ブロック合宿

・9/16（土）～18（月・祝）
・秋田県美郷町・宿泊交流館（ワクアス）秋田県仙北郡美郷町飯詰字下鶴田22-1　0187-88-8870
・参加費（20,000円）２泊５食

💛４年ぶりの合宿なので、まずは歌うこととし、コンサートをメインにします。（出演の申し込みも予想を超えました）
　もちろん、天羽憲治さんを迎えて合唱もチャレンジします。

💛問い合わせは
秋田：後藤雅裕
　　090-5351-8840
岩手：佐藤幸子
　　090-1497-5290
青森：佐藤康弘
　　090-9037-5195
　　まで

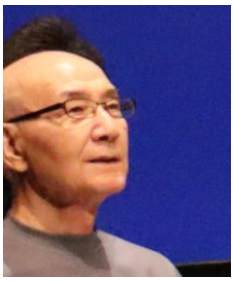
九州ブロック合宿

・9/28（木）～29（金）
・福岡県　くつろぎの森グリーンピア八女
　八女市黒木町木屋10905
　0943-42-2400

💛担当の山田力さんに聞いたところ、参加費はなくて、参加者がそれぞれ宿泊費（10,000円くらい）を払うとのことでした。

💛問い合わせは、山田力さん。
　090-4514-7398　まで

いずれの合宿にも、長野の塚本昇、塚本茂子さんが参加して交流します。



今村一男さんから笠木博逸さんへお礼状

ゴメンナサイ 勝手に決め込んでました

笠木　博逸　様

こんにちは。「第 54 回はたらくものの音楽祭」で、地元実行委員会でやるべきことは何とかやり遂げ、ここしばらくは、あくびをして静かな日々を過ごしています。

ところで、「ありがとう青春のうたたちよ」の詩に私の詩の一部を拾い上げ、つなぎ合わせて一つの新しい詩に作り上げて頂きありがとうございました。

「日音協ソング 2020 応募曲集」で初めて目にしたのですが、その時の正直な思いは、（色が似ている２曲ぐらいの中から拾ったフレーズを並べ、そして繋げるのなら出来るかもしれないけど、５曲も６曲もの中から拾って並べるんじゃ、繋げるのは無理だよ、無理・無理！）と、よく目を通さないで本棚へ仕舞い込んでいました。またリズムなども、「北海道の仲間たちがよく使うフォーク調の（スッチャカ・チャカチャカ）で刻むのだろう」と、かってに決め込んでいました。

ところがどっこい、ＣＤ（On the road）の６曲目（ありがとう青春の歌たちよ：詩＝今村一男）をセットして音出しをしたら、なんと思い込みとはまったく違う軽快でご機嫌なロックン・ロールのサウンドが飛び出てくるのにはビックリ！「俺、セット番号を間違えたかな？」と思うほどの驚きでした。

詩も１番から３番までそれぞれにキチンと型にはめ込んでいるし、曲はと云えば、1960 年代ころに流行った「ポールアンカのダイアナ」、「ビーチボーイズのサーフィン USA」、「エルビスプレスリーの監獄ロック」、「モンキーズのデイ・ドリーム・ビリーバー」、「飯田久彦がコピーして歌っていたルイジアナ・ママ」、「コニーフランシスのヴァケーション」等々、尻を振り振りツイストを踊っていた当時を思い起させるし、また（ツー　スリー　フォー）のところから気分を変え後半へ向かわせるところや、ハモリを付けて追っかけを入れたりと、ご機嫌な曲ですね。今頃になって気が付くとは誠に申し訳ありませんでした。

北海道のグループには達者な楽器演奏者が揃っていて羨ましいです。フォークギター、エレキギター、エレキベース、バンジョー、フラットマンドリン、トランペット、ハーモニカ、タンバリンなどパーカッション等々、それぞれの歌に似合った色付けをしていますね。時にはスリッパも登場したりしますが…、今回の笠木さんのＣＤ収録曲にあっても、エレキギターとエレキベースのバック演奏が、笠木さんの歌に新しいエネルギーといい色付けをしていると思います。

日音協参加の各グループは、北海道の演奏づくりにもっと学んだら…、と思います。

素晴らしいＣＤをありがとう。お大事に……。

（返信不要）

2023.6.10　今村　一男

笠木さんへのメール・そくそく（抜粋）

●東京・坂口さんから

長岡から郡山を、高速を走りながら聴いてきました。北海道のサウンドと笠木さんの歌は、眠気も寄せ付けない新鮮さがあり、運転しながら聴くのにもぴったりですね。

●私鉄・松浦さんから

長岡の「はたらくものの音楽祭」会場で笠木さんのＣＤを購入して聴かせていただきました。伴奏やコーラス等にこだわった妥協しない音作りに感動しました。ジャケット等にも拘りが感じられ、素晴らしい完成度だと思います。これほどの作品を、こんなに手軽に手に入れられることに感謝の気持ちでいっぱいです。

●東京・森さんから

タツがＣＤに笠木さんのサインを欲しがっていました。お会いできる日を楽しみにしています。その時ＣＤを持っていけたらサインをお願いします。

●青森・高沢さんから

ＣＤの感想は桑野さんに送っていますが、長年の活動の集大成の作品になりましたね！素晴らしい!!車で聞いていますよ～

笠木さんの『On the road』好評販売中

■申し込みは、磯野さんまで。
090-5953-2458
hiroiso2021@gmail.com
あわせて、ＦＭカンパニーの『喜唱点結』も扱ってます。それぞれ 1000 円（送料込み）です。振込手数料は負担願います。

９月 18 日の脱原発や気候危機・エネルギー問題等での大きなイベント「ワタシのミライ　NO NUKES & NO FOSSIL － 再エネ 100%と公正な社会を目指して」（これまでの脱原発課題中心とした集会とパレードを、今回、気候危機や自然エネルギー関係の市民や市民団体・ＮＧＯに広げ、特に若い世代の参加を促進し、フェステバル的な要素を含んだもの）については、すでに８月７日づけ日音協発 23 第 18 号と８月 14 日づけ日音協発 23 第 19 号でご案内したところですが、日音協のブースのおおよその位置とパレード送り出し演奏、設営をお手伝いいただける方の集合時刻についてお知らせします。

日音協は交通費もお支払いできませんが、首都圏の会員や仲間たち、または偶然この日東京にいるよという会員や仲間たちにご参加いただきたくご案内いたします。

ワタシのミライ NO NUKES & NO FOSSIL
再エネ 100%と公正な社会を目指して

■日　時　2023 年９月 18 日（月・敬老の日）
11：00～16：00

■会　場　代々木公園Ｂ地区
野外ステージ・けやき並木
（ＪＲ山手線「原宿駅」、東京メトロ千代田線「明治神宮前駅」、千代田線「代々木公園駅」、小田急線「代々木八幡駅」下車）

■内　容　ステージ、ブース、パレード

■主　催　ワタシのミライ Fridays For Future Tokyo　さようなら原発 1000 万人アクション

■日音協としての取り組み

日音協はブースをお借りして、ブース前でミニコンサートを開催し、またパレードに出発する参加者をうたと演奏で激励します。

①　ミニコンサートは 11 時～12 時 30 分（第１部）と 13 時 30 分～15 時（第２部）との二部形式とします。

②　ミニコンサートの出演者（団体）ごとの出演時間は 15 分を標準としたうえで申し込み時に希望をうかがいます。出演者（団体）多数のときは、ご希望よりも短い時間をお願いする場合があります。

③　日音協ブースの位置は、おおよそ地図の中央の赤い十字のところ（けやき並木）とします。正確な位置は、当日、他の団体と音響の状態を調整して決めることになります。

④　ミニコンサート終了後、パレードに出発する（15 時 30 分出発予定）参加者をうたと演奏で激励します。演奏する場所は③のブース前を想定していますが、当日変更する可能性があります。

■日音協ブース前ミニコンサートに出演を希望される方（グループ）は申し込み書のフォーマットにより、９月 11 日（月）までにお申し込みください。申し込みが少ない場合は申し込み期限を延長する場合があります。

■申込　日本音楽協議会　nichion@yomogi.or.jp
ファクシミリ　03 6369 3057
電話　03 3221 1821

■９月 18 日当日、ブースの設営などお手伝いいただける方は、けやき並木に９時 30 分においでください。日音協は、参加者の交通費その他の費用を負担しませんし、出演料などのご負担を求めることもありません。

歌の力が物語るもの121

茱萸坂うた行動 8／25（484回）報告　Ｒｉｃｏ

【参加者】おーさん、イサさん、佐藤さん、達哉、森　計5名

昨日からとうとう汚染水の海への放出が始まってしまった。東京電力本店前や官邸前ではいくつもの抗議行動が呼びかけられ、私も昨日午前の東電前と、今日昼からの官邸前の抗議に参加してきた。そして茱萸坂。『あたりまえの地球』から歌い始める。「海にさかなが泳ぎ…」と始まる歌詞に胸が痛む。トリチウムだけがクローズアップされ、その数値から安全と宣伝されているが、デブリの冷却に使われた水は、未だ自然界に無いさまざまな核種を含んだままだ。海を「あたりまえの海」ではなくする暴挙。食物連鎖のつながる先で私たちの命を脅かす愚行。政府や東電は何の権限があって海を汚していくのか。『私たちは許さない』を「汚染水放出許さない」として歌う。そうさ、他国もやってるなんて言い訳にもならない、世界のどこにも許さない。『フクシマをくり返すな』『風車の唄』『メッセージ』、そして『水に流すな』。今日は守屋さんが不在で若干不安だったが、歌い切った。とにかく怒りがおさまらない。「海を汚すなよ　水に流すなよ　私は恥ずかしい…」世界に、未来に、こんな恥ずかしい真似をさらして。

佐藤さんは管楽器をたくさんもって来ていて久しぶりにコルネットとトランペットの2本吹きをしてくれた。力強い金管の音が重なって歌に力がこもる。『双葉の秋』『あなたに届けと』と歌いながら、これだけ暮らしを壊しながら誰も責任をとっていないことを改めて考える。「政府が責任をもって…」いや、もったこと ないじゃん。ペラペラの薄っぺらなコトバ。

いつもの家族連れが通りかかった。沖縄の、辺野古座り込みから帰って来たばかりだという。お土産のお菓子をいただいた。沖縄も福島も、「丁寧な説明」もなく「関係者の理解を得る」のも嘘っぱちだった。『平和に生きる権利』『沖縄に基地はNO！NO！NO！』『ふるさと沖縄』を歌った。この国はどうなっていくのか。

汚染水放出は30年かかるというが、事故原発の廃炉だってどのくらいかかるかわからないのだから、30年で済むとも思えない。少しでも早く放出を止めさせたい。最後は決意をこめて、『原子力発電NO！』。声をあげ続けていこう。

森さん　望月さん　狭石さん　東京新聞より

茱萸坂の標柱から望む首相官邸

水道橋だより

▼笠木ＣＤを聴いた感想メールの追加です。▼笠木さんのＣＤ毎日聴いています。今朝も聴いて、仕事に出かけました。私は笠木さんの大ファンなので、これで毎日元気にすごせそうです。曲も良いし、声も良いですし、流石シンガーソングライターですね。これからも沢山歌を作ってください。ＣＤは会場で売り切れて買えない人がいましたので、都支部は私が注文をまとめようと思っています。ＣＤはロック、フォーク、音頭、演歌風な曲など色々で、聴いていて飽きません。演奏が良いし、曲も笠木さんの声も良いですねー。私はここのところ街頭で、伴奏なしで歌っています。土曜日は軍拡反対署名を地元亀戸駅で歌いながら集めました。元気にやっております。（東京都支部・支部長　狭石啓子）

▼6月24日。反核燃の日全国集会（青森市）。ＰＡなどのスタッフのため演奏を断念。『核のゴミと原発マネーのブルース』を準備したが、ＣＤプレーヤー不調のためこれまた断念。残念!!　（佐藤）

どん行

（170）

飯島貞親

▼人工知能ＡＩが、電気や火の発見に匹敵するようなものだと囃し立てられている。バラ色の夢が膨らむ一方で、米ハリウッドの俳優や脚本家たちがＡＩに仕事を奪われることへの懸念を理由にストライキに突入している▼確かに生成型ＡＩは、注文に応じて膨大なデータを収集してそのパターンを分析し、それらしい文章、画像、音声、音楽、動画などを生み出してくれる。が、それはどこまで行ってもそれらしいだけの擬似技術であることは免れない。ＡＩの本質を踏まえた上で、この便利な新技術をどう使いこなすかについての人間の知恵の発達が遅れていることの方が問題ではないだろうか。開発されているＡＩ技術は重要であるし、使いようによっては人類の役に立つ。ただし、人間の知性の代わりには決してならない。本質を理解しないまま、「乗り遅れるな」と活用にのめり込む日本の風潮が心配だ▼ＡＩと人間の一番の違いは、ＡＩは身体を持っていないこと。この間、自宅の冷蔵庫を購入した。２人の若者が「うんしょ、うんしょ」とうまい具合に古いモノと交換してくれた。とてもＡＩには無理だと思った▼自分の身体や五感を使い、現実のなかでの体験を通して体得した知恵は、人間ならではのものに違いない。